

授業科目名	楽典(2100731)		
時間割名	楽典(24107)		
時間割担当	山本美紀		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・4		

授業の目標・概要

音楽の基礎知識としての楽典の講義、またそれを用いた読譜を行い、理解を確認する。また、楽典を踏まえて編曲に必要なルールを学び、簡単な伴奏付けを通して知識を定着させる。

学習の到達目標

1. 音楽の基礎知識としての楽典の理解を深める。
2. 楽譜を読んで音にする力を身につける。
3. 楽譜の正しい書き方を身につける。
4. 基本的な伴奏付けの能力を身につける。

授業方法・形式

講義形式だが、その都度練習問題を授業内で行い、実践への運用につなげていく。

授業計画

- 第1回 授業の進め方・評価方法等についてのガイダンス
- 第2回 楽典の講義：楽譜について1 - 音符と音価
- 第3回 楽典の講義：楽譜について2 - 音名と各種記号
- 第4回 楽典の講義：楽譜について3 - リズム
- 第5回 楽典の講義：楽譜について4 - リズム（付点と連符）
- 第6回 楽典の講義：音程
- 第7回 楽典の講義：音階と調 1 - 長調
- 第8回 楽典の講義：音階と調 2 - 短調
- 第9回 楽典の講義：音階と和声 1 - 長調
- 第10回 楽典の講義：音階と和声 2 - 短調
- 第11回 楽譜からの情報を読み取る
- 第12回 伴奏付けと編曲の理論 1：和声の考え方
- 第13回 伴奏付けと編曲の理論 2：コードの考え方
- 第14回 楽譜を作る：楽曲を編曲、伴奏をつけてみる
- 第15回 総括

成績評価の基準

授業中に行う小レポートと課題レポートを中心に評価し、授業に対する取組度、理解度をチェックしていく。（40%）さらに学期末試験において総合的な習熟度を確認する。（60%）

準備学習・復習及び授

授業中に指示する。

履修上のアドバイス及

授業内で行った練習問題について、間違ったところや記憶が曖昧な点は放置せず、必ず次の授業までに確認しておくこと。次々と新しい内容に入っていくので、わからないままにしておくと、どんどんわからなくなっていくため。

教材・教科書

授業内で指示する。

参考書

坪野春枝『たのしく学べる 学生の楽典教室（解答編付）【改訂版】』ケイ・エム・ピー2002